

不良行為少年の補導状況

		飲 酒	喫 煙	深夜はいかい	不良交友	暴走行為	家 出	そ の 他	合 計
学 職 別	小 学 生		3	7	1		4	12	27
	中 学 生	17	254	484	17	4	34	73	883
	高 校 生	31	330	700	13	14	10	25	1,123
	その他学生	10	30	13		3			56
	有 職 少 年	23	525	480	12	11	4	5	1,060
	無 職 少 年	17	497	772	14	20	7	5	1,332
年 齢 別	10歳以下						2	10	12
	11歳			3			2	2	7
	12歳		9	36	2	1	5	5	58
	13歳	2	58	95	1	1	12	14	183
	14歳	10	116	244	6	1	12	30	419
	15歳	16	262	454	14	3	12	28	789
	16歳	18	480	846	23	26	7	18	1,418
	17歳	17	361	738	8	13	5	12	1,154
	18歳	23	276	40	3	7	1	1	351
	19歳	12	77				1		90
合 計		98	1,639	2,456	57	52	59	120	4,481

非行少年を生まない愛媛づくり

- 少年非行の背景として、
- 少年自身の規範意識の低下とコミュニケーション能力の不足
 - 家庭、地域社会の教育機能の低下
 - 少年が居場所を見出せずに孤立し、疎外感を抱いている現状等があげられます。

このような情勢から、愛媛県警察では、

- ★ 少年に手を差し伸べる立ち直り支援
- ★ 少年を見守る社会気運の醸成

を重点に、関係機関・団体や地域のボランティアの方々の協力を得ながら「非行少年を生まない愛媛づくり」に取り組んでいます。

少年サポートセンター分室「ひめさぼ」では、

- 友達や親子関係等で悩んでいる
- 犯罪の被害に遭った
- いじめに遭っている
- 子どもの非行で困っている

など、少年に関する相談を受け付けています。

場所 松山市築山町12-33 松山市青少年センター2階
日時 月曜～金曜及び第1・第3土曜（祝日等を除く） 午前9時～午後5時

愛 媛 県 警 察

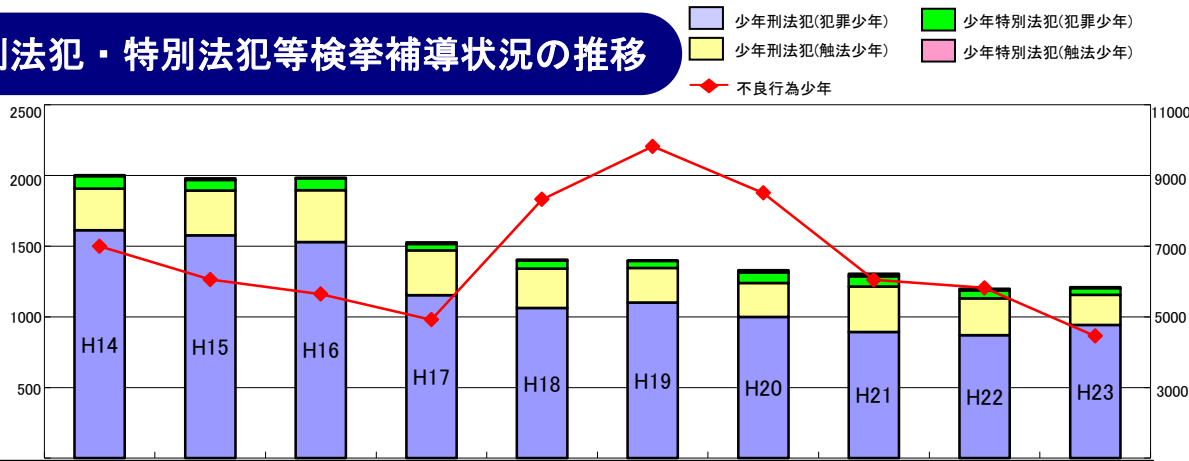
少年非行の概況（H23年）

※ H23年は暫定値。

少年非行の特徴

- 少年刑法犯は増加、うち触法少年は減少
- 少年刑法犯の45.8%が中学生（小・中・高校生で74.8%）
- 少年刑法犯の66.0%が初発型非行
- 少年特別法犯は減少、特に薬物事犯が減少
- 少年特別法犯の中心は軽犯罪法違反及び迷惑防止条例違反

少年刑法犯・特別法犯等検挙補導状況の推移



	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	増 減	増減率
少年 刑 法 犯	1,908	1,893	1,895	1,470	1,342	1,346	1,239	1,214	1,130	1,156	+26	+2.3%
犯罪少年	1,612	1,576	1,530	1,154	1,062	1,102	999	894	870	943	+73	+8.4%
触法少年	296	317	365	316	280	244	240	320	260	213	-47	-18.1%
少年特別法犯	95	86	89	56	63	52	90	90	69	53	-16	-23.2%
犯罪少年	88	76	84	45	57	50	76	72	57	47	-10	-17.5%
触法少年	7	10	5	11	6	2	14	18	12	6	-6	-50.0%
非行少年総数	2,003	1,979	1,984	1,526	1,405	1,398	1,329	1,304	1,199	1,209	+10	+0.8%
非行少年に占める触法少年の割合	15.1%	16.5%	18.6%	21.4%	20.4%	17.6%	19.1%	25.9%	22.7%	18.1%	-4.6%	—
不良行為少年	6,998	6,057	5,642	4,920	8,325	9,822	8,505	6,045	5,819	4,481	-1,338	-23.0%

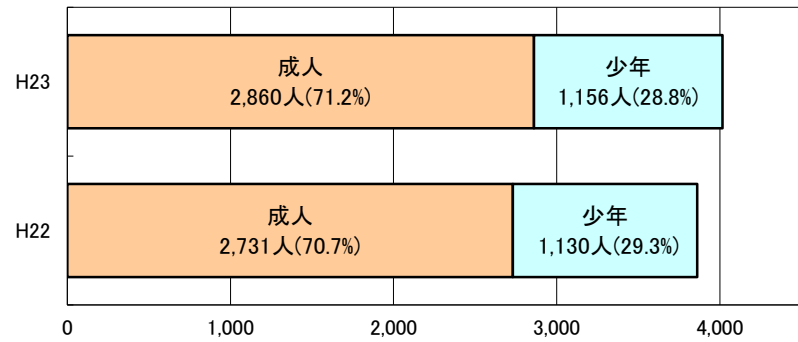
※ 増減及び増減率は前年との対比。

非行少年等警察署別検挙補導状況

	少 年 刑 法 犯		少 年 特 別 法 犯		非行少年の占める署別割合	不良行為少年
	犯罪少年	触法少年	犯罪少年	触法少年		
四国中央	48	10	2		5.0%	156
新 居 浜	90	22	14		10.4%	350
西 条	70	16	1	2	7.4%	231
西 条 西	24	8		1	2.7%	113
今 治	62	21	7		7.4%	647
伯 方	4	1			0.4%	13
松 山 東	240	36	7	1	23.5%	972
松 山 西	113	18	2	1	11.1%	782
松 山 南	133	27	7	1	13.9%	468
久万高原					0.0%	2
伊 予	45	10	2		4.7%	309
大 洲	17	5	1		1.9%	91
八 幡 浜	22	1	3		2.1%	94
西 予	13				1.1%	26
宇 和 島	50	38	1		7.4%	169
愛 南	12				1.0%	21

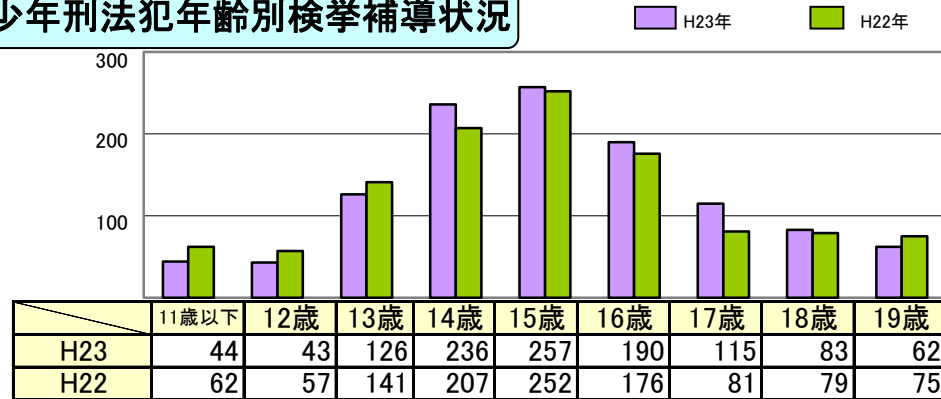
※ 不良行為少年は少年課補導人員を除く数値。

刑法犯に占める少年の割合



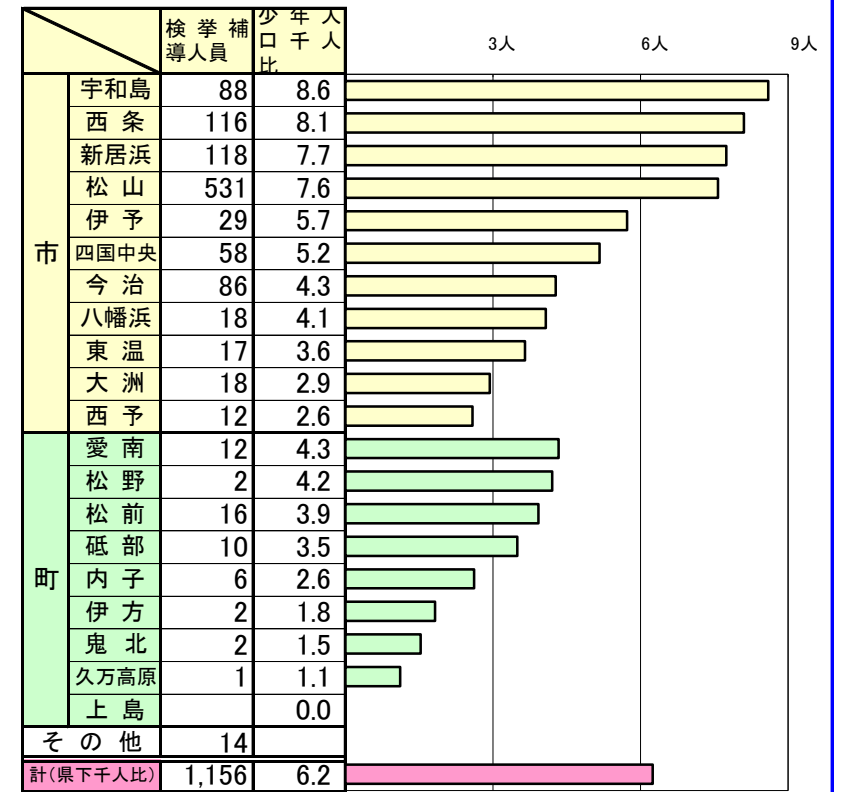
- 全刑法犯に占める少年の割合は28. 8%（前年29. 3%）

少年刑法犯年齢別検挙補導状況



- 15歳が非行の中心
- 14～16歳で全体の59. 1%（前年56. 2%）

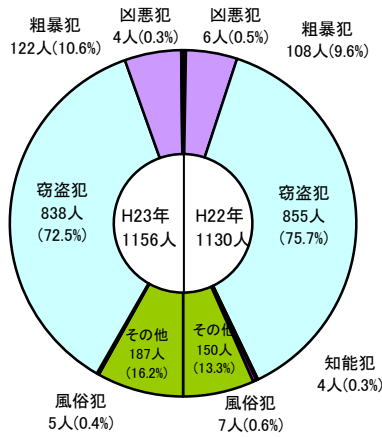
少年刑法犯居住地別検挙補導状況



- ※ 少年人口は平成22年実施の国勢調査による6～19歳の人口を使用。
- 県内千人比は、県内居住少年の検挙補導人員を使用。
- その他は、愛媛県外の居住少年及び住居不定者を示す。

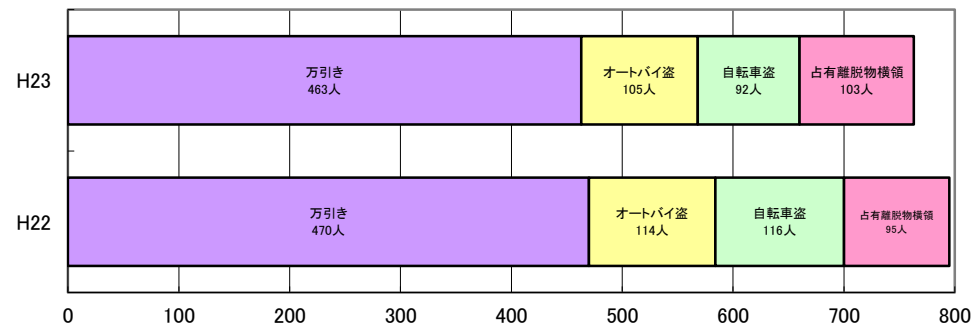
少年刑法犯罪種別状況

	H23	H22
凶悪犯	4	6
粗暴犯	122	108
窃盗犯	838	855
知能犯		4
風俗犯	5	7
その他	187	150
合計	1,156	1,130



- 窃盗犯が全体の72. 5%（前年75. 7%）

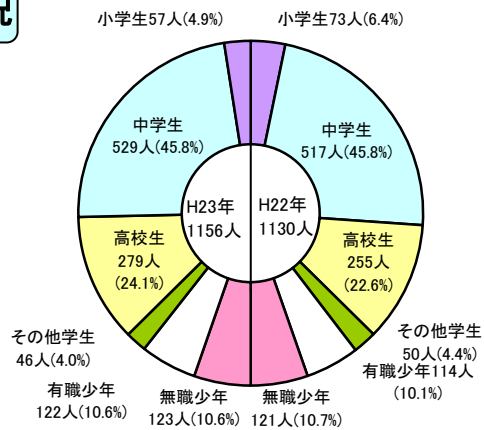
初発型非行検挙補導状況



- 少年刑法犯1,156人のうち初発型非行は763人で、全体の66.0%（前年70.4%）

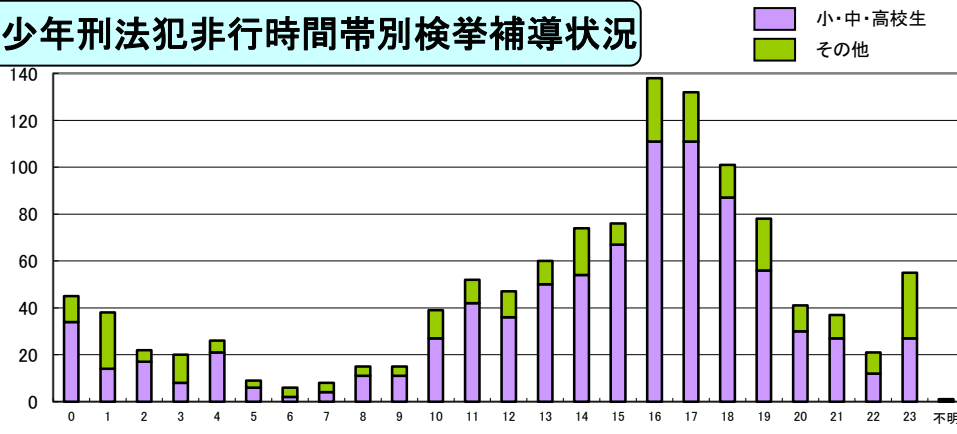
少年刑法犯学職別状況

	H23	H22
小学生	57	73
中学生	529	517
高校生	279	255
その他学生	46	50
有職少年	122	114
無職少年	123	121
合計	1,156	1,130



- 中学生が全体の45. 8%を占め非行の中心（前年45. 8%）

少年刑法犯非行時間帯別検挙補導状況



- 小・中・高校生の非行は16時から17時の下校時間帯に集中

少年特別法犯検挙補導状況

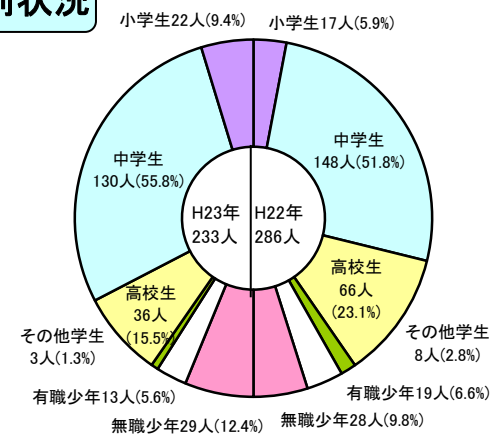
	合計	年 齢 別							学 職 別			
		13以下	14	15	16	17	18	19	中学生以下	高校生	その他学生	有職
H23 軽犯罪法	16	3		7	4		1	1	4	3		5
H23 毒劇法	4			1		1	1	1		1	1	2
H23 迷惑防止条例	12	1			4	6	1		1	2	1	6
H23 その他	21	2	2	2	4	4	4	3	6	8	2	4
H23 計	53	6	2	10	12	11	7	5	11	14	4	15
H22 軽犯罪法	22	11	1	3	3		1	3	15	2	1	3
H22 毒劇法等	25		3	5	6	2	3	6	3	2	1	6
H22 迷惑防止条例	2	1			1				1	1		
H22 その他	20				1	4	11	4		6	1	9
H22 計	69	12	4	8	11	6	15	13	19	11	3	18

- ※ 毒劇法等は、毒物及び劇物取締法、覚せい剤取締法、麻薬及び向精神薬取締法違反の検挙補導人員を示す。

- 少年特別法犯の中心は軽犯罪法違反及び迷惑防止条例違反、両違反で全体の52. 8%（前年34. 8%）
- 小・中・高校生が全体の47. 2%（前年43. 5%）

女子少年刑法犯学職別状況

	H23	H22
小学生	22	17
中学生	130	148
高校生	36	66
その他学生	3	8
有職少年	13	19
無職少年	29	28
合計	233	286



- 女子の非行は全体の20. 2%（前年25. 3%）

少年刑法犯罪種別再非行状況

	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23
非 行 歴 な し	1,287	1,017	946	972	847	804	765	772
非 行 歴 あ り	608	453	396	374	392	410	365	384
凶 悪 犯	5	8	6	3	3	6	5	1
粗 暴 犯	87	76	75	79	83	61	51	61
窃 盗 犯	416	289	253	235	237	274	266	271
知 能 犯	11		4	1	3	5	1	
風 俗 犯	2				2	4		
そ の 他	87	80	58	56	64	60	42	51
再非行少年の割合	32.1%	30.8%	29.5%	27.8%	31.6%	33.8%	32.3%	33.2%

- 再非行少年の割合は微増（前年比+19人、+0. 9%ポイント）

★ 本リーフレットで使用している用語の解説

刑 法 犯	刑法に規定する罪並びに「爆発物取締罰則」「暴力行為等処罰ニ関スル法律」等13法令に規定する罪をいう。
特 別 法 犯	刑法犯を除く全ての犯罪(条例を含む)をいう。
犯 罪 少 年	特に断りのない限り、犯行時及び処理時の年齢が14歳以上20歳未満の少年をいう。
触 法 少 年	14歳未満で刑罰法令に触れる行為をした少年をいう。
非 行 少 年	刑法犯、特別法犯を犯した少年(犯罪少年及び触法少年)をいう。
初発型非行	万引き、自転車盗、オートバイ盗、占有離脱物横領の非行をいう。
不良行為少年	非行少年には該当しないが、飲酒、喫煙その他自己又は他人の徳性を害する行為をして補導した少年をいう。